



東九州新幹線計画推進へ

宮崎県も複数ルート案



東九州新幹線の議論が大分県で活発化してきた中、宮崎県でも計画推進に向けた新たな動きが出てくる。大分と共に国に働きかけてきたJR日豊線沿いのルートに加え、熊本側の九州新幹線と結ぶ新ルートの検討に乗り出した。東九州を走る新幹線の実現には隣県との「足並み」も重要になる。宮崎県の現状を取材した。

費用対効果を調査

5月31日の朝、宮崎市のJR宮崎駅前から新八代駅（熊本県八代市）行き高速バスが出発した。乗り込んだのは会社員や学生ら約10人。宮崎市に住む70代女性客は「陸路で福岡市に行く時は、新八代でバスから九州新幹線に乗り換えるのが多い」と話した。この高速バスと同じルートに新幹線を整備し、九州新幹線とつなぐ。昨年11月の宮崎県議会。河野俊嗣知事は「新八代ルートも有力な選択肢の一つだ」と新たな方針を明らかにした。

「低調な世論を喚起」



宮崎市発の新八代行き高速バスに乗り込む乗客。同じルートに新幹線を整備する案が新たな選択肢として浮上している。5月31日、JR宮崎駅前

日豊線沿いを▽北から整備▽南の九州新幹線・鹿児島中央駅から整備」と合わせた3案について、県は費用対効果や時間短縮効果などを調べている。

東九州新幹線の整備構想は1973年に国が「基本計画路線」と位置付けた。福岡市から大分、宮崎両市を経由して鹿児島市に至る区間という以外、詳細なルートは未定。50年間、何も進んでいなかった。九州新幹線・鹿児島ルートが全線開業した翌年の2

012年、東九州の計画を動かすため、九州地方知事会は事業化に向けた特別決議を採択。小倉駅（北九州市）回りの日豊線ルートの検討や国への働きかけが本格化した。

大分県では九州新幹線・新島橋駅（佐賀県）を回る久大線ルートを含めた2案が議論されている。

空路での移動中心

宮崎県の事情は少し異なる。東京、大阪への移動は空路が中心で福岡も飛行機を利用する人が多い。待望する声は、開通すれば中国、四国地方が観光商圏に入る。宮崎市のホテル社長、富森信作さん（65）は「宮崎県は必要」と話している。

東九州新幹線を巡る大分県の動き

県は昨年、久大線ルートの調査を初めて実施し、県内6カ所で結果の聴取会を開いた。所要時間、需要予測、事業費など日豊線ルートと比較してもらい、県民意識を高めたとしている。県民意識を高めようとする整備計画路線への格上げに向けて、佐藤衛一知事は「関係県との連携を強化していく」と話している。

だが、議論は活発とは言えない。新案の提示で世論を喚起したい」という。新八代ルートの評価は地域で温度差がある。

宮崎市の不動産業の男性（58）は「日豊線ルートは整備に時間がかかりそう。新八代ルートは区間が短く早く実現する気がする」。県北部の市町村は遠く離れたルートを警戒する。そもそも基本計画路線は大分を経由する設定で、「計画の枠外だ」と指摘。大分県南部の自治体との会合で、日豊線沿いに整備を求めることを確認した。

難しい青写真共有

国家プロジェクトを前進させるには関係県の連携が欠かせない。一方、それぞれの県に「一口も早く地元が開通を」「できるだけ整備効果を大きく」との思いがあり、青写真を共有する難しさもある。

宮崎県は秋にも、調査結果を公表する見通し。県総合交通課は「あくまで日豊線ルートが基本で、これまで通り国への要望を続ける」と説明している。（江藤嘉寿）



〔問①〕 宮崎県が調べる3案とは？

〔問②〕 東九州新幹線の整備構想は、何年に基本計画路線になりましたか。

〔問③〕 東九州新幹線構想についてのあなたの意見は？